

## 第 52 回 全 関 西 バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 大 会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	第52回 全関西バスケットボール大会					
●日程	令和6年3月24日 (日) ~		令和6年3月25日 (月)			
●会場	マエダハウジング東区スポーツセンター、大和興産安佐北区スポーツセンター 広島市安芸区スポーツセンター、広島皆実高校、県立広島工業高校					
●講師	講師: 神田 亮一 様、黒岡 和哲 様					
●スケジュール	令和6年3月24日 (日)		マエダハウジング東区スポーツセンター			
	8:00 会場入り 8:15 プレゲームカンファレンス 8:45 コートイン・コートインスペクション 9:00 担当ゲーム1試合目開始 10:30 担当ゲーム1試合目終了後、ポストゲームカンファレンス 11:00 プレゲームカンファレンス 11:35 コートイン・コートインスペクション 11:50 担当ゲーム2試合目開始 13:20 担当ゲーム2試合目終了後、ポストゲームカンファレンス 閉講式なし、各自割当終了後、適宜解散					
●担当試合①	令和6年3月24日 (日) 9:00 ~					
	対戦カード	県立広島商業高校		VS	中村学園女子高校	
	審判	CC	山本 拓己 氏	U1	三富 千聖	U2 藤原 健 氏
	講師/主任	IRの配置はありませんでしたが、黒岡 和哲 様よりご講評いただきました				
	講評	・トラベリングについての整理がなされていなかったように感じる。バイオレーションに関しては、ゲームの序盤にテンポセットするという意識をクルー三人で共有しておくべき。 ・タイムアウトが本来とれないタイミングで成立してしまった。クルー全員が気づけなかったことが問題、処置ミスについてはルールについて再度確認が必要。				
	自己の感想	プレカンで処置ミス0を目標にしようとクルーで共有していたため、クロックやチームファウルなどの表示物については管理できていたが、タイムアウトについて大きな処置ミスをした。 バイオレーションの判定やタイムアウト等の処置については、ルールブックに明確に示されており、処置ミスはチームからの信頼を大きく損なうため、早急にルールについて確認する必要がある。				
●担当試合②	令和6年3月24日 (日) 11:50 ~					
	対戦カード	桜花学園高校		VS	県立岐阜商業高校	
	審判	CC	濱本 淳子 氏	U1	木島 絵梨子 氏	U2 三富 千聖
	講師/主任	IRの配置はありませんでしたが、黒岡 和哲 様よりご講評いただきました				
	講評	・得点差のあるゲームになることが予想される場合、どのようなゲームプランを考えて臨むのかをクルーで共有しておく必要がある ・強いチームのプレーが正しいという先入観を持っていなかったか、再度映像等で検証してほしい。 ・良い判定もあったが、その後の再開場所が明確でなく、ローテーションがスムーズにいかない場面が多々あった。ファウルやバイオレーションを宣した後、再開場所を指し示す・再開場所を意識したテーブルレポートなどの工夫が必要である。				
	自己の感想	・トレイルでのポジションアジャストでは、プレーからの距離が遠いことが多い。特にポストプレーやリバウンド時にトレイルが高いことが多いので、自分がみるべきプレーにポジションを下げることでアジャストできるようにする。 ・リードのポジションアジャストでは、リードに向かってくるドライブやポストプレーに対してクローズダウンポジションでステイしてしまい、プレーに近すぎてアングルが取れないことがあった。セットアップポジションを中心としたポジションアジャストやルーズザペイントの動きをより意識する必要がある。				

**第 52 回 全 関 西 バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 大 会**  
**参 加 報 告 書**

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	第52回 全関西バスケットボール大会					
●日程	令和6年3月24日 (日) ~			令和6年3月25日 (月)		
●会場	マエダハウジング東区スポーツセンター、大和興産安佐北区スポーツセンター 広島市安芸区スポーツセンター、広島皆実高校、県立広島工業高校					
●講師	講師: 神田 亮一 様、黒岡 和哲 様					
●スケジュール	令和6年3月25日 (月)			広島皆実高校		
	8:00 会場入り 8:15 プレゲームカンファレンス 8:45 コートイン・コートインスペクション 9:00 担当ゲーム1試合目(ハーフゲーム)開始 9:40 担当ゲーム1試合目終了 9:50 担当ゲーム2試合目(ハーフゲーム)開始 10:30 担当ゲーム2試合目終了後、ポストゲームカンファレンス 閉講式なし、各自割当終了後、適宜解散					
●担当試合①	令和6年3月25日 (月) 9:00 ~					
	対戦カード	高松南高校		VS	高川学園高校	
	審判	CC	前田 琢登 氏	U1	三富 千聖	U2 原 未来斗 氏
	講師/主任	IRの配置はありませんでしたが、熊本 裕一郎氏よりご講評いただきました				
	講評	・交流試合だったが、クロックの修正について丁寧に対応され、レフェリーがゲームをリードする姿を感じられた。ショットクロックを修正するタイミングについても、ハーフコートにオフェンスが入った時に止めたのはよかったと思う。 ・フリースローライン付近で起こったシリンダーファウルをリードが宣したケースは、研修会であったクリップのように、エリアとしてはデュアルだったが、トレイルがビジーかつアングルがリードにあったため、プライマリの意識としては正しかったと思う。				
	自己の感想	リバウンドのルーズボールでのファウルの判定について、前半にマージナルにできるケースがいくつかあったため、クルーで共有して後半に臨んだ 後半、ルーズボールやリバウンドを両チーム積極的にプレーするケースが増えたため、クルーでゲームプランを共有し修正できたことが良い方向に働いたと感じた				
●担当試合②	令和6年3月25日 (月) 9:50 ~					
	対戦カード	足羽高校		VS	大阪体育大学浪商高校	
	審判	CC	前田 琢登 氏	U1	三富 千聖	U2 原 未来斗 氏
	講師/主任	IRの配置はありませんでした				
	講評	なし				
	自己の感想	・浪商のヘルプディフェンスについて、リードが判定するケースが多くあった。ルーズザペイントの意識を持ってポジションアジャストすることができたが、ローテーションすべき場面でステイしてしまう場面がいくつかあった。 ・ショットに対してのディフェンスや手の使い方についてはクルーで笛を入れ整理することができたが、リバウンド争いでのコンタクトについては整理することができなかった。エッジでのショット時や飛び込みリバウンドに対して、クルーで視野を分担することができていなかったように感じるため、プライマリについて理解を深めるとともにクルーのポジションを意識したポジションアジャストに取り組みたい。  最後になりましたが、派遣に関してご高配を賜り、貴重な経験をさせていただきましたこと、大阪府審判委員会の皆様へ感謝申し上げます。 また、本大会の開催にあたりご準備・運営いただきました広島県バスケットボール協会の皆様、チーム関係者の皆様にも心より御礼申し上げます。				

## 第 52 回 全 関 西 高 校 生 バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 大 会

### 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	第25回全関西高校生バスケットボール大会				
●日程	令和6年3月23日 (土) ~		令和6年3月25日 (月)		
●会場	マエダハウジング東区スポーツセンター、大和興産安佐北区スポーツセンター、安芸区スポーツセンター、県立広島皆実高校、県立広島工業高校				
●講師	神田 亮一 様 黒岡 和哲 様				
●スケジュール	令和6年3月24日 (日)				
	3月24日 13:30 PGC 14:20 TIPP OFF 3月25日 8:00 PGC 9:00 TIPP OFF(ハーフゲーム2本)				
●担当試合	令和6年3月24日 (日) 14:40 ~				
	対戦カード	福大若葉		VS	鳥取城北
	主審(CC)	小谷将夫氏(高知)	副審(U1)	山下涉氏(徳島)	(U2) 貝崎壘斗
	講師/主任	無し			
	講評	CCの方を中心にアドバイス頂きました。 ポストアップの所での手でのイリーガルプッシュがファーストコールでは鳴らせなかったが、その後修正して同じケースで笛が入ったので良かった。 ネクストボーナス、ツーモアの確認ができており、クレーとしては助かった。 センタープライマリーの3or2でトレイルから同じタイミングで挙げるのは原因を分析するべきである。			
	自己の感想	自身のプライマリーでイリーガルなコンタクトがあるということを知っていましたが、コールできずセカンダリーでヘルプして頂きましたが、自身でコールに繋がれば良かったと思います。その後修正する意識を持っていたので、同様のケースが自身のプライマリーで起きたときコールできました。ゲームの中で修正し、判定に繋がられたのは良かったです。チームファウル数、ツーモアネクストボーナス、シューターの確認等も意識できていたので、クレーが情報を持っていないときにヘルプできました。			

●担当試合	令和5年3月25日 (土) 9:00 ~				
	対戦カード	北九州市立 北九州市立		VS	浪商学園 下松
	主審(CC)	福島慧生氏(岡山)	副審(U1)	貝崎塁斗	(U2) 藤内拓真氏 (大阪)
	講師/主任	中原迅氏(広島)			
	講評	<p>クレーでコールが必要な場面で笛が入っていたので良かった。 クロック管理が徹底されていたのでマジックタイムで正しいクロック修正ができていた。 それぞれにプライマリーの意識が感じられ、プライマリーのシングルコールが多かったことでとても納得できる判定が多かった。 スピードアジャスターの意識が感じられ、スムーズにゲームが運営されていた。</p>			
	自己の感想	<p>プライマリーのシングルコールができるよう意識して取り組むことをPGCでは確認しました。1ゲーム通じてそれが達成できました。また、必要な時に笛が入っていたので各レフリーが集中してゲームに取り組めるとともに、クロックや表示物にも注視できました。マジックタイムを全時間帯拾う練習をし、実際に修正できたのは良かったです。タイムアウト後や交代で声を有効に使ったことでチームも協力して下さり、スムーズなゲーム運営ができました。</p> <p>今回2回目の全関西バスケットボールに派遣審判として推薦して下さいました、大阪府審判委員会の皆様、広島県バスケットボール協会様、各府県の審判員様にこの場をお借りしまして、感謝申し上げます。 ありがとうございました。</p>			